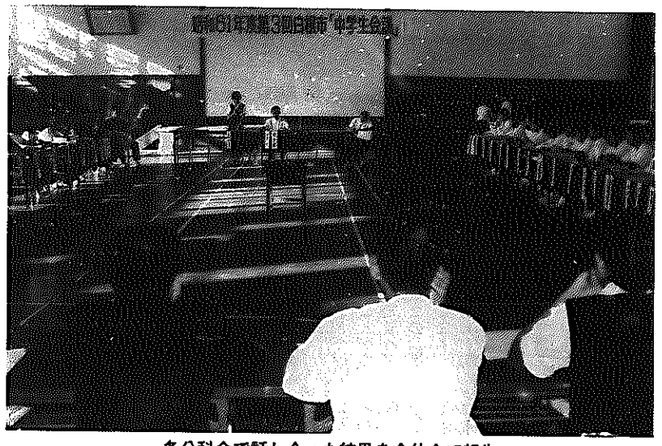
# 白根市 中学生会議（第3回）

## 「人に言われてやるよりは…」。生徒自身が快適な学校生活を考える

市内の中学校の代表生徒六十三人が集まり、九月二十六日、教育委員会庁舎で『第三回白根市中学生会議』が開かれました。この会議は、市内五中学校の生徒会や学年代表が集まり、お互いの学校の悩みや問題点を出し合って生徒自身で解決策を見いだしていこうと、一昨年に発足したものです。今回は生徒会と各学年ごとの四つの分科会で、今まで取り組んできた事例が発表された後、各学校の現状や具体策が話し合われ、その結果が全体会で報告されました。生徒会部会では、行事などの活動を通し、どうやって協力し合う雰囲気づくりを進めるか。各学年部会では、人間関係や係活動、授業態度などについて活発に意見が出されていました。これらは各学校へ持ち帰り、実践されていきます。各部会の記録係がまとめた会議内容を紹介します。



各分科会で話し合った結果を全体会で報告

### 生徒会部会

## 行事で協力し合うことは学習などに影響を及ぼす。学級を基礎にパイプを強める必要がある

**生徒会活動の活性化を目指して**

◎行事でみんなが協力する雰囲気を盛り上げていくことは、他の活動や学習などに影響を及ぼすので大切なことだ。

学校、学年、学級は団結があるか。各学校の状況はどうだろう。

**大鷲**：団結はしていない。一部がそういう感じ。だが、言えばやる。

**臼井**：新聞コンクールや全校合宿を行っているが、あまり団結がない。

**一中**：体育祭で団結を深めたが、終わったらなくなった。

**庄瀬**：団結はある（縦、横とも）。縦の団結の深まる行事が多かった。先輩、後輩の仲がよい。

**新飯田**：八割くらい団結。

◎生徒会活動を活発にするためには、学級を基礎としたピラミッド型になっている必要がある。本部と各専門委員会、学年、学級とのパイプを強化する必要がある。

◎団結や協力を望むなら、遊ぶことも必要。

**大鷲中からの意見**

① みんなの声を聞く。生徒会新聞をつくる。めやす箱を利用。

② 大鷲会議を月四回開く。月の前半に目標を立て、後半に反省。

③ 月の半ばは遊ぶ。月一回レク。

④ 委員会と本部が一つになる。

⑤ 生徒会の努力事項。

この五点を、今年と来年を使って一つのまとまりごとに協力を深めた方がよい。仕事をしていない委員会には、本部が仕事内容を考えてやる。

・自分たちで企画したものでなければ、積極的な参加は望めない。「競争」を取り入れるのもよい（体育祭など）。

### 1年生部会

## 仲よくつきあえる学級づくりにレクを実施、効果はまちまち。他人まかせの係の仕事はやはり優先的に考えなければ

**議題①――思いやりのある楽しい学級にするには？**

◎いじめや仲間はずれを含めて、友達はどんなことを言われたときに、いやな思いをしているのだろうか。

**新飯田**：陰口、仲間はずれだと思う。

**庄瀬**：陰口、人の欠点を言われたときだと思う。

**一中**：おとなしい人へのいやがらせ。女子の間でいろいろと言うことなど。

**臼井・大鷲**：そういうことはない。

◎思いやりのない行動や、いじめをなくしていくには、どうしたらいいか？

**庄瀬**：学活で話し合った。

**一中**：班・班長会で解決。みんなの前で立たせて、その人にあやまらせるなどした。

**大鷲**：班編成のときに考えて行っている。問題があったときは班長会で解決している。

◎他の友達を受け入れないようなグループや仲間はずれをなくし、みんなが仲よくつきあえる学級をつくるにはどうしたらよいか？

※ほとんどの学校ではレクを行ってみたそうです。効果は、あったところとなかったところと、まちまちでした。

**議題②――係活動を活発にするには？**

※各校の意見を総合すると、次のような問題があります。





# 中学生会議

・みんなやる気がない ・他の人がやってくれるという気がある

・仕事をしない人が決まっている

・男子がさぼる ・一部の人しかやらない ・やってもやりっぱなし

◎係の班分けと、仕事の進め方はどうしているか？

・係と当番に分かれてやっている

・班ごとの仕事のほかに、個々に仕事を与えている

◎係活動が活発にならないのはなぜか？

・部活に出ないと文句を言われる

・全員が協力しない

◎係活動を活発にするにはどうしたらよいか？

・係優先の時間をつくる ・注意し合う ・魅力ある活動にするには班に関係なくつくったらどうか

### 2年生部会

## よい点、悪い点いろいろあるけれどまじめな考えの通る学級にしていきたい

**議題――クラスのよい点・悪い点と、悪い点の改善策**

**よい点**――・明るい ・仲がよい ・やるときはやる ・まとまっている ・あいさつがよいなど

**悪い点**――・授業中の態度が悪い ・積極的でない ・人の悪口を言う ・忘れもの ・名札なし ・宿題忘れ ・けじめがない ・変型ズボンなど

**〈特に悪い点と改善策〉**

**●授業中の態度**

※どの学校も、いちばんの悪い点として挙げたことで、この話し合いの中心になりました。

**状況**――・私語が多い ・物を投げる ・教科によって態度が違う ・うるさいのは持定の人だけ ・好きな者どうしの座席ほど態度が悪くなる

**改善策**――・反省文を書く ・みんなで注意する ・評価カード制（先生がその授業の態度を評価し専用カードに記入）を取り入れてよくなった一中を参考に、他の学校でも本格的に取り組む

**●忘れ物、名札なし、宿題忘れ**

**改善策**――・連絡をメモする ・予・復習を毎日やっていれば宿題を忘れることがない ・やはり一人一人が生活を見つめて行動する

**●変型ズボン**

※どの学校でも問題があり、はかないのにズボンを見せるなどの状況も発表されました。

**改善策**――生活（風紀）委員が注意する

※最後に「今日各学校から学んだことを基に、まじめな考えの通る学校・学年・学級にしていく」ということを確認し合いました。

### 3年生部会

## 教科で違う授業態度楽しければ私語もなくなる。人間関係は学校の規模により理解のしかたがかなり違う

**議題①――授業中の私語**

※まず、授業中の私語について意見が交わされました。聞いてみると、どの学校も「一、二年生のときよりは……」というのがほとんどでした。

**一中**：五教科以外はあまりよくない。入試に関係ないと思ってあまく見ているようだ。

**新飯田**：五教科以外はやはりうるさくなるが、一、二年のときよりはよくなった。

**新飯田中校長**：我々教師にも理由があるのではと思い、アンケートを行ってみた。

◎変化ある授業にすれば？

**庄瀬**：現在は音楽の時間は暇。社会は黒板に書くだけ。

**一中**：先生がいやだと遊びたくなる。

**臼井**：社会の時間、VTRを見るなどしている。授業が楽しいと私語もなくなる。

※生徒が思っていることを発言し盛り上がりました。

◎教師と生徒がいっしょに話し合い、生徒の声がその授業を向上させるのでは。その点についてどう考えるか？

・話し合おうとしても話せる先生とだめな先生がいて難しい。

※この意見がほとんどでした。

**議題②――人間関係**

※マンモス校と小規模校の問題意識の壁は越えられず、小規模校からはマンモス校の現状（バラバラになってまとまらなくなったりする）が理解されなかったようでした。

**議題③――下級生とのトラブル**

※あまり問題はないようで、意見は少数でした。先生の「残りの期間どう対処したらよいか」の問いかけに「後輩たちが伝統を受け継いでくれるように」という意見が印象に残りました。

以上のことが話し合われましたが、中学生会議が無駄にならぬようにと思っています。

## 「きまりを守る」から「自分たちでつくる」へ

市教育委員会指導主事
**大滝睦夫さん**

会議では今のところ、学校のきまりを受けて、それをどう守っていくかが検討されています。今後は現在のきまりを守りながら、自分たちに合ったきまりに変えるところまでいってほしいですね。そうすれば、「言われたからやる」のではなく「自分から学習する・きまりを守る」というように、自主的で充実した学校生活が送れるでしょう。生徒の方から先生に働きかけ、そして先生も生徒と向かい合い、それにこたえていく必要があります。

もう一つは、問題のある生徒をどうしていくかです。活動を役割分担し、みんなで協力してやりとげるようにすれば、友達関係が出来てきます。集団から離れている生徒も、役割を持つことで自分の存在がみんなから認められれば、やる気を出します。風紀委員が点検して直させるのでなく、自ら進んで直すように、自治活動を通してそういうところまで持っていければと思っています。

会議で各学校の様子がよくわかりましたし、集まった生徒も何か感じ取っていったのではないでしょうか。そしてこれを今後の指導にどう生かしていくかが、私たちの課題です。